

- 問1 1221年に後鳥羽上皇が、源頼朝が亡くなった後の鎌倉幕府の混乱に乗じて、朝廷の権力を取り戻そうと兵をあげた出来事を何といいますか。
(2022年 山形県公立入試 類似)
1. 応仁の乱 2. 壬申の乱 3. 承久の乱 4. 平治の乱
- 問2 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた承久の乱の後、幕府が朝廷の動きを監視し、あわせて京都の治安維持や西国の武士を統制するために設置した機関として正しいものはどれですか。
(2026年 島根県公立入試 類似)
1. 京都所司代 2. 六波羅探題 3. 鎮西探題 4. 問注所
- 問3 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵をあげた「承久の乱」ののち、幕府が朝廷の動きを監視し、あわせて京都の警備や西国の統轄を行うために、京都に新たに設置した機関はどれですか。
(2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. 六波羅探題 2. 問注所 3. 侍所 4. 政所
- 問4 13世紀後半、モンゴル帝国の皇帝として国号を「元」に改め、2度にわたって九州北部へ大規模な軍隊を派遣した人物と、その出来事の組み合わせとして正しいものはどれか。
(2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. トグス・テムル — 文禄・慶長の役 2. フビライ・ハン — 白村江の戦い 3. フビライ・ハン — 元寇 4. チンギス・ハン — 元寇
- 問5 源頼朝が征夷大將軍に任じられ、武士による政治が確立された鎌倉時代において、禅宗が武士の精神的支えとして広く受け入れられた理由として、最も適切な説明はどれか選びなさい。
(2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 加持祈祷によって現世での利益や国家の安泰を願う儀式が、武家政権の権威を象徴するものとして利用されたから。 2. 「南無阿彌陀仏」と唱えるだけで誰でも極楽浄土へ行けるという平易な教えが、学問の機会が少なかった地方武士に歓迎されたから。 3. 法華経こそが正しい教えであると説き、幕府に対して強い忠誠心を持つよう指導したことが、支配体制の安定に寄与したから。 4. 厳しい修行を通じて自己の精神を鍛え、迷いを断ち切ろうとする実践的な姿勢が、命を懸けて戦う武士の気風に合致したから。
- 問6 源頼朝が再建に協力した東大寺南大門などの歴史的背景に関連して、当時の幕府が地方統治のために導入した「守護」の役割について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2015年 山口県公立入試 類似)
1. 幕府の最高機関として、執権を補佐し政治全般の協議を行った。 2. 朝廷から直接派遣され、地方行政の全般や租税の徴収を司った。 3. 国ごとに設置され、大犯三箇条と呼ばれる軍事・警察的な権限を行使した。 4. 荘園や公領ごとに設置され、土地の管理や年貢の徴収を直接担当した。
- 問7 鎌倉時代に起こった出来事のうち、その時期が最も遅い（新しい）ものを、当時の国際情勢や国内の法整備の流れを踏まえて選びなさい。
(2023年 千葉県公立入試 類似)
1. 北条泰時が裁判の基準を明確にするために定めた御成敗式目 2. 白河上皇が天皇の位を譲ったあとにも政治の実権を握った院政の開始 3. 後鳥羽上皇が隠岐へ流される原因となった承久の乱 4. モンゴル帝国のフビライ・ハンによる服属要求を拒否したことによる元寇
- 問8 1221年に発生した承久の乱において、朝廷軍を破った鎌倉幕府が、朝廷を監視し、あわせて西国の武士を統制するために京都に新しく設置した役所はどれか。
(2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 評定衆 2. 鎮西探題 3. 六波羅探題 4. 政所
- 問9 承久の乱の前後における鎌倉幕府の支配範囲の変化について述べた説明のうち、地頭の任命に関する背景をふまえたものとして適切なものはどれですか。
(2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 乱の結果、幕府は地頭の制度を廃止し、六波羅探題がすべての領地の管理を行うこととした。 2. 乱の以前は東国が中心だった幕府の支配力が、乱後の地頭任命を通じて西日本にも及ぶようになった。 3. 源頼朝が守護・地頭を設置した時点で、すでに西日本のすべての荘園に地頭が配置されていた。 4. 没収された土地には、東国の御家人ではなく京都に住む朝廷側の武士が地頭として再任された。
- 問10 源氏の系図において、源頼朝の子である源実朝が暗殺されたことで幕府が動揺した際、後鳥羽上皇は幕府を倒そうとして兵を挙げました。1221年に起きたこの承久の乱の後、勝利した鎌倉幕府が朝廷の動きを監視し、西国の武士を統制するために京都に設置した役職は何ですか。
(2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 鎮西探題 2. 守護 3. 六波羅探題 4. 鎌倉府
- 問11 1221年に起こった承久の乱ののち、鎌倉幕府が朝廷の動きを監視し、京都の警備や西国の御家人の統制を行うために京都に設置した機関の名称として正しいものを選びなさい。この機関は、幕府の組織図において、中央の侍所や政所、問注所といった実務機関とは別に、京都に置かれた出先機関として位置づけられています。
(2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 鎌倉府 2. 六波羅探題 3. 大宰府 4. 鎮西探題
- 問12 鎌倉時代中期以降、多くの御家人が経済的に困窮した理由として、当時の相続の仕組みに関連した説明として正しいものを次の中から選びなさい。
(2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 幕府が御家人の領地を強制的に回収し、直轄領として再編する政策を強行したため。 2. 一族の子弟に領地を分けて継承させる分割相続が繰り返され、一人当たりの領地が細分化されたため。 3. 長男のみが全ての領地を継承する単独相続が徹底され、次男以下の不満が武力衝突に発展したため。 4. 惣領が全ての領地を一括管理する制度に変わったことで、一族内での年貢の分配が滞ったため。
- 問13 源頼朝が、全国の国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭を設置することを朝廷に認めさせた最大の狙いとして、最も適切な説明はどれですか。
(2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 源義経の追討を口実として、全国の軍事・警察権や土地管理権を幕府が握るため 2. 平氏の残党を完全に排除し、平氏が所有していた領地をすべて朝廷に返還するため 3. 北条氏による執権政治を確立するために、朝廷が持つ裁判権をすべて鎌倉へ移すため 4. 源義仲を討伐するための軍資金を、全国の農民から平等に徴収する仕組みを作るため
- 問14 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうと兵を挙げた「承久の乱」において、幕府軍が勝利を収めた後、朝廷の監視や京都の警備、および西国の御家人の統制を強化するために京都に設置された役職を選びなさい。
(2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 六波羅探題 2. 侍所 3. 鎌倉府 4. 執権